

医療法人^{ばん すい}伴帥会 広報誌 ガイアの 季節

2023年6月発行

第42号

医療法人 伴帥会
愛野記念病院

〒854-0301 長崎県雲仙市愛野町甲3838-1
TEL (0957) 36-0015 FAX (0957) 36-1027
ホームページ <http://www.ainomhp.jp/>

わたし達の町の——医療をサポート

医療法人伴帥会

広報誌 ガイアの季節

第42号

6月発行

発行／医療法人伴帥会 愛野記念病院

雲仙仁田峠の「ミヤマキリシマ」

基本理念

- 一、私たちは患者様、利用者様の立場にたち、納得していただける良質な医療・介護サービスを提供します。
- 一、私たちは保健・医療・福祉を通じて地域の皆様の安心・信頼・満足のゆく健康で豊かな生活を支援します。

- Dr.コラム【ボードゲームへのご招待】…………… 2
- 化学療法研修会を開催しました…………… 3
- 新入職員紹介…………… 4～5
- 愛野記念病院での研修を終えて…………… 6
- 県下一周駅伝代替大会に参加して…………… 6
- デイケアにおける介護美容の取り組み…………… 7
- Cookingレシピ／キャベツとツナの卵炒め…………… 7

伴帥会グループは地域の医療・介護・福祉をトータルでサポートします!!

愛野記念病院



【受付時間】
月～金 午前 8:00～午前 11:30
午後 1:00～午後 5:00
土曜 午前 8:00～午前 11:30
【診療時間】
月～金 午前 9:00～午後 0:30
午後 2:00～午後 5:00
土曜 午前 9:00～午後 0:30
【休診】日曜・祝日 第2土曜日

〒854-0301 長崎県雲仙市愛野町甲 3838-1
TEL. 0957-36-0015(代) FAX. 0957-36-1027

【診療科目】

整形外科、内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、緩和ケア内科、外科、消化器外科、脳神経外科、形成外科、リハビリテーション科、アレルギー科、リウマチ科、皮膚科、耳鼻いんこう科、心療内科、麻酔科、放射線科

※麻酔科標榜医：前田 滋・原田 沖・高橋 俊次・山下 紀夫
※救急の場合は24時間対応いたします。玄関は、7時30分に開けます。
※当院は、予約制となっております。

愛野記念病院 健診部門「健診プラザ」



- 生活習慣病予防健診
- 雇用時健診
- 企業健診
- 特定健診
- がん検診
- 人間ドック

〒854-0301 長崎県雲仙市愛野町甲 3838-1
TEL. 0957-27-5757 FAX. 0957-36-0070

愛の訪問看護ステーション

- 在宅での看護ケアの提供
- 医師の指示による点滴、医療処置の実施
- 日常生活の介助
- 看護学生の実習受け入れ

〒854-0301 長崎県雲仙市愛野町甲 3838-1
TEL. 0957-36-3370 FAX. 0957-36-3380

愛野記念病院 ケアマネジメントセンター (在宅介護支援事業所)

- 要介護認定申請の代行業務
- 介護プランの作成
- 居宅サービスの調整や施設サービスの紹介
- 介護保険全般に関するご相談

〒854-0301 長崎県雲仙市愛野町甲 3838-1
TEL. 0957-36-3382 FAX. 0957-36-3405

愛野記念病院 訪問リハビリテーション

TEL. 0957-36-1825 FAX. 0957-36-1847



愛野記念病院
ホームページ

介護老人保健施設 ガイアの里

ガイアの里 通所リハビリテーション

ガイアの里 訪問リハビリテーション



- 介護老人保健施設(入所)
- ショートステイ(短期入所)
- 通所リハビリテーション
- 訪問リハビリテーション
- 居宅介護支援事業所

〒854-0301 長崎県雲仙市愛野町乙 2314-1
TEL. 0957-36-3550 FAX. 0957-36-3553

グループホーム ●椿高野 ●山椿



- 生活リハビリ
- 認知症の進行緩和
- 認知症デイサービス

〒854-0302 長崎県雲仙市愛野町乙 2314-5
TEL. 0957-36-3558 FAX. 0957-36-2618

岐伯鍼灸院



- はり、灸施術
頭痛、肩こり、腰痛、
ひざ痛、内科的な疾患
などの緩和と回復

〒854-0301 長崎県雲仙市愛野町甲 3835-1
TEL. 0957-36-0134



「第3回化学療法研修会」を開催しました

薬局長 池田 春美

外来化学療法の質向上を目的として開催しており、近隣の保険薬局薬剤師4名、院内スタッフ15名（薬剤師7名、看護師6名、管理栄養士1名、事務1名）、計19名の参加がありました。

初めに、当院の外来化学療法担当看護師から「がん患者の薬薬連携 がん化学療法を受ける患者の看護」と題して講演を行いました。

がん化学療法は制吐剤の進化とともに、入院治療から外来治療へ変遷しており、それに伴って外来化学療法室での患者ケアが重要となってきました。抗がん剤の点滴をしている間、患者さんには待ち時間が生じますが、当院の管理栄養士は化学療法室を訪し、その待ち時間に普段の食事摂取状況や補助食品についてゆくり話をすることがあります。患者さんにとっては有意義と思われる、看護師の立場からとても助かっているとのこと。

このようにがん化学療法には多職種が介入しますが、患者さんへ指導する際には「（患者さんが）いつもと違った感じがして副作用かな？」と思うことがあれば、「次の外来受診日を待たずに早めに受診する」ことを繰り返し伝えることが大事！との呼びかけが印象に残りました。

続いて、当院の化学療法担当薬剤師から「症例報告 保険薬局との連携を通して」と題して講演しました。実際に保険薬局から手足症候群の初期症状報告があった例を挙げ、病院の医療スタッフだけでなく保険薬局の薬剤師も加わることで、患者さんがより安全にがん化学療法を継続できると感じました。また、同症例において患者さんから聞き取った食事摂取状況と、栄養評価（CONUTスコア）とい



います）を照合したところ、大きなズレがありました。

今後は栄養状態の評価を医療者が速やかにできるための勉強会の必要性や、委員会等でのCONUTスコアを利用した栄養不良状態の評価および関連スタッフへの周知なども有用となってくるのではないかと考えられます。

コロナ禍において、人と人が接する機会が減ってしまいました。患者さんと接することもついでに越して声が通りにくかったり、その影響でコミュニケーションがとりづらかったりしています。複数の医療従事者が同じように指導を繰り返す、患者さんの情報を共有できれば、副作用の早期発見につながり苦痛を軽減できるのではないかと思います。これからはなるべく近く、表情のわかる距離でゆくり話をし、コミュニケーションをとりながら、よりよいケアを行うことを目標としていきたいです。



外来化学療法担当看護師による講演



化学療法担当薬剤師による講演

Dr.コラム

テーブルの上に広がるワンダーランド ～ボードゲームへのご招待～

内科医師 曾野 弘士

ボードゲームとは、人生ゲームやオセロといったアナログ・ゲームのことです。今や、「コーヒー焙煎」から「火星開拓」まで多様なテーマのゲームが発表され、世界中で楽しまれています。デジタル・ゲームも良いですが、プレイヤー同志の「やりとり」や駒の質感、ダイスを振ると言った「手触り」は、デジタルにはない魅力です。今回は無数の作品から2つ、私のお気に入りをご紹介します。

ウイルスから世界を救え！協力型ゲームの先駆け「パンデミック」

医師や研究者となって、世界中で猛威を振るうウイルスの撲滅を目指します。情報を集めワクチンを開発し、感染爆発を阻止できるのか。最大の特徴は「協力型」であること。つまり、誰かが勝って誰かが負けるのではなく、力を合わせて「ウイルスに勝つ」か「人類が滅亡する」かです。

このゲームに出会ったのは2017年、まだコロナのこの字もなかった頃。ここ数年は何となく避けていましたが、そろそろ解禁ですかね？初心者でも楽しめる名作です。

映えるアートワークの「ウイングスパン」

鳥獣保護区に鳥たちを呼び込むことが目的という一風変わった作品。170種類もの鳥カードのイラストは精緻で、カラフルな卵コマや餌箱型ダイスタワーと相まってSNSでも話題になりました。カード毎の豆知識も楽しい。餌や卵を使ってより多くの鳥を集め得点を競うのですが、見た目ほどには甘くありません。高得点で勝利するにはそれなりの戦略性が必要な中級者向けゲームです。

複雑なルールで数時間かかる重量級ゲームは、一緒に楽しめる人が限られます。1時間以内で、「もう一回！」と繰り返し遊べるくらいが好みですね。

高価なものもあるので、まずはボードゲーム・カフェで試してみるのも良いでしょう。膨大なジャンルの中には、きっとあなたに合うゲームがありますよ。



パンデミック



ウイングスパン



令和5年度 新入職員 NEW FACE

色々なことにチャレンジしながら頑張ります!!



ガイアの里 事務

野々山 茜

研修を受けて改めて多くのことを学びました。今後は今日のことを意識し明るい職場を作っていきたいです。



医事課

森田 華

早く仕事を覚えられるよう一生懸命頑張ります。未熟ですがご指導よろしくお願いいたします。



看護部

品川 唯

看護師として、地域貢献できるように頑張ります。



感染管理者

山口 友子

患者様と自分自身も守る感染対策を、全ての職種の方々に納得して実践していただけるように伝えていきたいと思っています。



看護部

東 葉月

患者様の細かな変化に気づける看護師になれるよう頑張ります。



看護部

宮邊 れい子

患者様とご家族とのコミュニケーションを大切に、患者様の痛みや不安に共感し、その解決に向けた支援を行いたいと思います。



ガイアの里 デイケア

森田 裕子

利用者様の状態把握と、利用者様本位の行動ができるよう努め、支援していきたいと思います。



栄養科

山本 梨々花

今まで学校で学んだことを十分に使い、わからないことがあったら先輩方に聞くなどして、頑張りたいです。



看護部

井上 葵

医療従事者としての責任を持ち、患者様、ご家族から信頼される看護師を目指して努力していきたいと思います。



看護部

富永 笑香

これからたくさんの失敗や辛いことがあると思いますが元気で笑顔を忘れず患者様と関わっていきたいと思っています。



ガイアの里 デイケア

木本 友紀

笑顔を忘れず、利用者様それぞれに応じた対応やケアができるよう頑張りたいと思います。



栄養科

橋本 千寛

高校で学んだことを活かして仕事をしていく中で出来ることを増やし、一日でも早く仕事を覚え即戦力になれるよう頑張ります。



看護部

辰田 桐子

患者様とご家族の立場に立ち、寄り添える看護師になるために学び続ける姿勢を持ち、日々成長していきます。



看護部

山崎 朱莉

患者様との信頼関係を大切にするとともに医療従事者としての責任を持ち、患者様の健康維持に貢献できるように頑張ります。



ガイアの里 デイケア

堀田 麻貴

これまでの経験をいかしつつも初心を忘れずに向上心を持ち利用者様が安心して笑顔で過ごせるよう寄り添うケアをしていきたいです。



健診プラザ 事務

徳永 幸

健診に来られた方が、次も健診プラザで健診を受けたいと思っていただける様に対応を心がけたいと思います。



看護部

西田 和枝

看護技術や知識を更に深めて、患者様に寄り添える看護師になりたいです。今の気持ちを忘れずに、笑顔で頑張ります。



看護部

吉田 真那

まだまだ不慣れな点がありますが、患者様とご家族に寄り添った看護ができるよう頑張ります。よろしくお願いします。



ガイアの里 栄養科

佐藤 ねね

今年度から社会人となり、まだ未熟な所ばかりですが、1日でも早く仕事を覚え皆様のお役にたてるように頑張りたいです。



ケアマネジメントセンター

下田 美雪

信頼してもらえるケアマネージャーになれるように、コミュニケーション能力や知識をしっかりと身につけていきたいと思っています。



看護部

益田 蘭

私は豊富な知識を身につけ判断力をもとに、多くの患者様に寄り添うことのできる看護師になりたいです。



看護部

山崎 琳子

思いやりの心を持って患者さんに接し、個別性に合わせた看護を提供できるよう励み、地域に貢献していきたいと思います。



グループホーム 椿高野

大藏 幹子

一人ひとりに寄り添った介護を充実するためにスキルアップし、介護福祉士を取得できるよう勉強したいと思います。



看護部

古川 天留栄

今はただ与えられた仕事を覚え勉強していきたいと思います。一生懸命頑張ります。



看護部

松本 果音

社会人としてのマナーのある振る舞いや接遇を行い、看護チームの一員としての役割や責任を果たすことができる看護師になりたいです。

Cooking レシピ フレイル予防メニュー

キャベツとツナの卵炒め



フレイル予防のために筋肉を作るたんぱく質と、筋肉の収縮や骨を強く保つためのカルシウム、ビタミンD を取るようにしましょう。

ビタミンD はきのこ、魚介、卵黄に多く含まれます。(干しいたけなど、きのこを干すことでうま味とビタミンD が増します。)

ビタミンD は、食品以外でも日光を浴びることで体内でも産生されるので、日向ぼっこや屋外活動もおすすめです。

作り方(2人分)

材 料	分 量	目 安 量
キャベツ	200g	4~5 枚
ツ ナ	70g	1 缶
しいたけ	100g	5 個
ニ ラ	20g	1/2 束
卵	100g	2 個
みりん	18g	大さじ 1
薄口しょうゆ	18g	大さじ 1
サラダ油	4g	小さじ 1

【作り方】

- ① キャベツはざく切り、しいたけは石づきをとり薄切り、ニラは 3cm に切る。
- ② フライパンに油を熱し、キャベツ、しいたけを炒めしんなりしてきたらツナも加え炒める。
材料を端に寄せて、溶いた卵と、ニラ、調味料を入れる。
- ③ 卵の外側が固まってきたら全体をよく混ぜ出来上がり。

1人分当たり

エネルギー…251kcal たんぱく質…15.9g
カルシウム…76mg ビタミンD…2.7μg
塩分…1.6g

デイケアで 取り組んでいる 介護美容!!



介護老人保健施設 ガイアの里
介護美容セラピスト 前田 佳子

ガイアの里 デイケアでは、2019年5月より介護美容に取り組んでいます。

ビューティータッチセラピーという美容療法は利用者様の自立支援につながることはもちろんですが、利用者様の健康でイキイキとした生活にも大きく貢献できるものと思っています。

機械のマッサージと違い『触れる』事で得られる癒しの効果はストレスを緩和し「**おしゃれがしたくなる**」「**生きがいができる**」「**笑顔が増える**」といった幸福感を創出します。



内閣府が 2014 年に行った「高齢者の日常生活における意識調査」では全国の 60 才以上の男女 6,000 人を対象におしゃれについてどの程度関心があるのか調査し、その結果「**おしゃれをしたい**」と回答した人は**69.0%**で、中には「**積極的におしゃれをしたい**」と回答した人も**8.0%**いる結果となりました。

このことから介護においても高齢者における美容意識の変化を捉え、それに合ったケアを行っていくことは重要なことと考えています。また、皆様に介護美容を知っていただき、介護美容セラピストとして施設だけでなく病院や地域に携わっていただけたらと思っています。

利用者様が明るく希望を持てる毎日を願い、充実したサービスが提供できるよう努めてまいります。

機関誌「老健」の 表紙に採用!!

介護美容の取り組み風景を、介護老人保健施設機関誌の2023年2月号表紙に採用されました。



愛野記念病院での研修を終えて

整形外科医師 杉田 憲彦



私は平成31年4月より令和5年2月まで、愛野記念病院で手外科分野の研修の機会をいただきました。

病院周辺では1次産業に従事している方も多いため指切断を含めた外傷も多く、慢性疾患と両方の豊富な経験を積むことができました。

手外科研修施設によっては自分で手術ができる機会が少ないということも聞きますが、当院では多くの執刀を経験させていただきました。

サポートはしっかりしており、その時の力量に合わせて手術を任せてもらえて、着実なステップアップができました。私はマイクロサージャリー未経験から4年間で、1人で指末梢部の再接着までできるようになりました。

また、当院は全国でも有数の認定ハンドセラピストを有しており、難しい症例の術後リハビリ等も議論しながら行なってきました。

学会発表支援も充実しており、症例も豊富なことから、国内学会での発表は毎年3回程度、海外学会はコロナの影響もあり難しい面もありましたが、2演題を通すことができました。

看護師は患者さんへの対応も優しく、働きやすい職場です。書類作成等は医師事務作業補助者がサポートしてくれました。

待遇面では各種福利厚生制度もあり、医師の昼食無料等も嬉しいところです。手術のある日、当直の日は夕食も用意され、毎回刺身付で美味しいです。

環境面では正直なところ都会とは違いますが、その分人は穏やかな印象です。魚介、野菜、肉いずれも美味しいです。魚介は渡りカニ、トラフグ、おこぜ、伊勢海老等が新鮮な状態でリーズナブルです。スーパーの刺身でもかなり新鮮でおいしいです。その気になれば直接アナジャコ、マテ貝、イカを捕ったり、釣り場も豊富にあります。野菜は近くに直売所があり、珍しいものも多く新鮮な状態で手に入ります。

長崎は和牛も有名で近くの焼肉店は質が良いにもかかわらず、こちらもリーズナブルです。また鴨も新鮮なものを食べさせてもらう機会がありました。

近くに泉質の異なる温泉が多数存在するのも魅力です。病院から車で30分程度走れば本格的な硫黄温泉に入ることができ、よく週末に行っていました。あとはバスケット、サッカー、ソフトボール、バレーボール、筋トレをしているグループがあり、私はバスケット、サッカーで大会にも参加し、筋トレではだいぶ体型が変わりました。

公私共に充実した時間を過ごさせていただきました。

県下一周駅伝代替大会に参加して

理学療法士 柴原 健吾

昨年、県下一周駅伝に選出されましたが、新型コロナウイルスの影響で開催されず、出場なりませんでした。

しかしながら今年、代替大会が開催され、初めて出場することが出来ました。その経験を経て自分が感じたことや今後活かしていきたいことを紹介したいと思います。

私自身これまで、子供が陸上をしていることや体力維持など趣味としてのランニングを行っていました。しかし、40歳を境に本大会の選考会参加のお誘いをいただき、家族や職場、友人など周りの方々に元気を与えられたらという気持ちが芽生え、本大会出場を目標に本格的に陸上に取り組み始めました。諫早市で定期開催されている練習会では、20歳~55歳と幅広い年代の方々と共にマラソンや本大会出場など各々目標を立てて練習に励み、職場では月一回開催しているランニング会でファンランするなど自分の周りの方にも支えられながら頑張ってきました。

本大会の駅伝では小学生~シニア(40歳代以上)と幅広い年代の方が優勝という同じ目標に向け一丸となつて走り切りました。

大会当日は今までにない程たくさんの方からの声援

を受け、多くの方に支えられていることを実感することが出来ました。

私は当院で理学療法士としてリハビリテーションを行っています。リハビリテーションはスタッフ一丸となつて、幅広い年代の患者様の生活や機能再建を目標に行う仕事です。

今回本大会に参加して、一個人だけでなく皆で支えあい協力して目標を達成することの大切さを再認識しました。また、同じように運動・スポーツを行っている方のサポートが出来るよう、今回の経験を仕事にも活かしていきたいと思っています。

